

# 記入例

【締切】3月6日（金）17：15 受付分まで【

## コメ新市場開拓等促進事業 取組計画書

福祉

R8産

- 新市場開拓用米 ① 作付面積【基幹作のみ】
- 加工用米 の ② 取組を実施するほ場の面積
- 米粉用米 ③ 出荷・販売契約数量 を記入

### 【多収品種加算について】

多収品種の場合は、交付単価に0.5万円/10aが加算される。

（多収品種に該当する品種）

あきさかり、シャインパール、ICS6号、  
ハイブリッドとうごう3号、つきあかり、ハナエチゼン

### ◎取組面積のうち、多収品種に該当する面積を記入

取り組む圃場の品種がすべて多収品種の場合は、以下のように記載

- うち多収品種加算面積＝取組面積
- うち多収品種加算相当数量＝出荷・販売契約数量

2.

▽ 令和7、8年度作付面積、令和8年度事業取組面積は、㎡単位で、小数点以下は四捨五入して記載してください。

▽ 令和7、8年度作付面積については、事業への取組品目以外でも作付する場合はご記載ください。

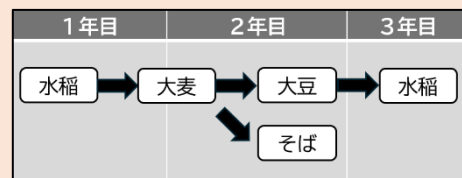
品目	令和7年度 作付面積 (㎡)	令和8年度 作付面積 (㎡)	令和8年度事業取組				
			取組面積 (㎡) ※1	出荷・販売 契約数量 (kg)	うち 多収品種加算 面積 (㎡) ※2	うち 多収品種加算 相当数量 (kg) ※2	うち令和9年度 ブロック・ゾーン 予定面積 (㎡)
新市場開拓用米	0	0					
加工用米	10,000	12,000	12,000	6,500	0	0	0

R8産

- 新市場開拓用米
- 加工用米
- 米粉用米

の取組面積のうち、R9年度にブロック・ゾーン※  
を予定しているほ場の面積を記入（なければ0と記入）

※ブロック・ゾーン：転作の圃場を団地（ブロック）  
にまとめて、毎年ブロックを変えていく方式  
（例）R8 水稻 → R9 麦あと大豆 → R10 水稻



### 3. 実需者との契約の有無について

※ 本事業における実需者とは、加工等を行う食品製造事業者や外食・中食業者のほか、輸出を代行する輸出事業者です。

▽ 取り組む品目毎に、下表（１）～（３）について該当する場合、具体的な実需者名（（２）には、集出荷業者等名も併せて）を必ず記載してください。

#### 添付書類

- ・（１）の場合 → “農業者—実需者間” の『販売契約書の写し』
- ・（２）の場合 → “農業者—集出荷業者等間” の『販売契約書の写し』  
“集出荷業者等—実需者間” の『販売契約書の写し』
- ・（１）（２）で、販売契約を今後締結する場合 → 『販売契約締結に関する計画書』

		新市場 開拓用米	加工用米	米粉用米
（１） 直接、実需者と販売契約を締結している又は締結する計画を有している場合、実需者名を右欄に記載	実需者名	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 20px; text-align: center;"> <p>品目ごとに、（１）～（３）のうち該当する箇所に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集出荷業者等名</li> <li>・ 実需者名                      等を記入</li> </ul> </div>		
（２） 集出荷業者（JA や卸売業者）等と出荷契約を締結し、その集出荷業者等が実需者と販売契約を締結している又は締結する計画を有している場合、集出荷事業者名と実需者名を右欄に記載	集出荷業者等名			
	実需者名			
（３） ・ 農業者（申込者）が直接、加工等を行っているなど、実需者の役割を兼ねている場合、加工等の取組内容を右欄に記載 ・ 酒蔵が自ら生産した米を加工する場合は、製品、原料米穀の使用数量、このうち自ら生産する酒造好適米の使用数量を記載	加工等の取組内容			

#### 4. 実施する取組

○新市場開拓用米、加工用米、米粉用米

多収品種に該当する場合は□に✓を入れて  
( ) 内に品種名を記入

① 多収品種加算を受ける場合には

	新市場開拓用米 (輸出用米等)	加工用米	米粉用米
多収品種加算 (品 種 名)	□ ( )	□ ( )	□ ( )

##### 【多収品種加算を受ける場合】

品目ごとに、「13 多収品種の導入」以外に、確実に実施する取組を  
3つのみ選択し、□に✓を入れる (合計4つの取組に✓が入る)

##### 【多収品種加算を受けない場合】

品目ごとに、確実に実施する取組を3つのみ選択し、□に✓を入れる

1	直播栽培	□	□	□
2	疎植栽培	□	□	□
3	高密度播種育苗栽培	□	□	□
4	プール育苗	□	□	□
5	温湯種子消毒	□	□	□
6	効率的な移植栽培	□	□	□
7	作期分散 ※	□	□	□
8	土壌診断等を踏まえた 施肥・土づくり	□	□	□
9	効率的な施肥 ※	□	□	□
10	効率的な農薬処理 ※	□	□	□
11	化学肥料の使用量削減	□	□	□
12	化学農薬の使用量削減	□	□	□
13	多収品種、高温耐性品 種又は米粉用米パン・ 麺専用品種の導入	□ (多収・高温) ( )	□ (多収・高温) ( )	□ (多収・高温・専用) ( )

##### 【多収品種に該当する品種】

あきさかり、シャインパール、ICS6号、ハイブリッドとうごう3号、  
つきあかり、ハナエチゼン

##### 【高温耐性品種に該当する品種】

ハナエチゼン、シャインパール、あきさかり

##### 【米粉用米 パン・麺専用品種に該当する品種】

北瑞穂、ふくのこ、ミズホチカラ、笑みたわわ、亜細亜のかおり、ほしのこ、  
こなだもん、越のかおり、あみちゃんまい、はなという、亜細亜のつき、  
奥羽452号

【多収品種加算を受ける場合】 合計4つ ✓

5. 確認欄（以下の口に✓

内容を確認し、すべての口に✓を入れる

- ✓ 国の他の助成事業（当年産に係る事業（水田活用の直接支払交付金のうち産地交付金を除く））で支援を受けている又は受ける予定となっている取組は選択しておらず、補助金等の重複受給はありません。
- ✓ 本事業で支援を受けた水田の面積については、当年産の水田活用の直接支払交付金の戦略作物助成（加工用米、米粉用米）及び都道府県に対する産地交付金の取組に応じた追加配分（新市場開拓用米）の対象面積から除外されることについて了承します。
- ✓ 取組を実施しても、採択審査の結果、助成対象とならない場合があることについて了承します。
- ✓ 出荷・販売契約書や出荷・販売伝票等の証拠書類を翌年度から5年間保管し、地域農業再生協議会や地方農政局等からの求めがあった場合には、提出します。
- ✓ 以下の場合には、交付金を返還すること、又は交付されないことに異存ありません。
  - ・ 本計画書に基づく内容において、虚偽の申請をしたことが判明した場合
  - ・ 正当な理由なく、本計画書に記載した対象作物を作付けていないことが判明した場合
  - ・ 本計画書に記載した対象作物について、必要な出荷・販売契約等の締結をしていないこと、適切な作付け・肥培管理・収穫等が行われていないことや、正当な理由なく、出荷・販売をしていないこと、その他交付要件を満たす取組が行われていないことが判明した場合
  - ・ 必要書類が保管されておらず、要件を満たすことが確認できない場合や提出を拒む場合
  - ・ 地域農業再生協議会等による適正な事業執行等のための調査に応じない場合

上記確認内容に同意すること、助成対象となった場合には、確実に取組を実施するとともに、取組の結果報告を行うことを誓約します。

令和8年 2月 24日

氏名 福井 太郎

日付と氏名を記入